

有限会社シスタクラブ

モザイク処理のサポート

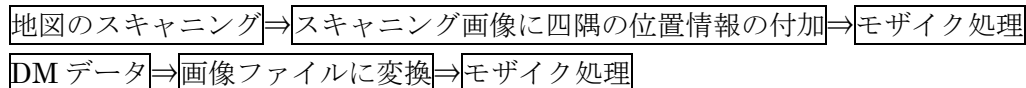
GIS でモザイク処理とは複数の画像を結合させることを意味します。

GIS では、座標さえ正しく指定されていれば何枚でもラスタ（例えば geotiff や jpeg などの画像ファイル）を正しい位置に配置することが出来ますが、処理の都合上、ラスタを結合させたい場合に、モザイク処理を行います。GIS では複数の画像を結合させる処理のことを言います。

近年、デジタルマップ(DM データ)が整備されつつありますが、まだまだ印刷された 1/2500 の地形図を使用している地方自治体は多くあります。紙に印刷された地図を GIS で使用する場合に必要な技術です。

また DM データ自体もベクターデータで非常に描画するのに時間が掛かり扱いにくいフォーマットになっています。

具体的には



の流れで処理を行います。

スキヤニングした地形図に世界測地系(日本測地系でも同じ)位置情報を持たせることに慣れていない場合にサポートいたします。

更に、モザイク処理を行う地図が多数ある場合、作業効率を高めるため画像圧縮技術を使います。使用するフォーマットは MrSID です。

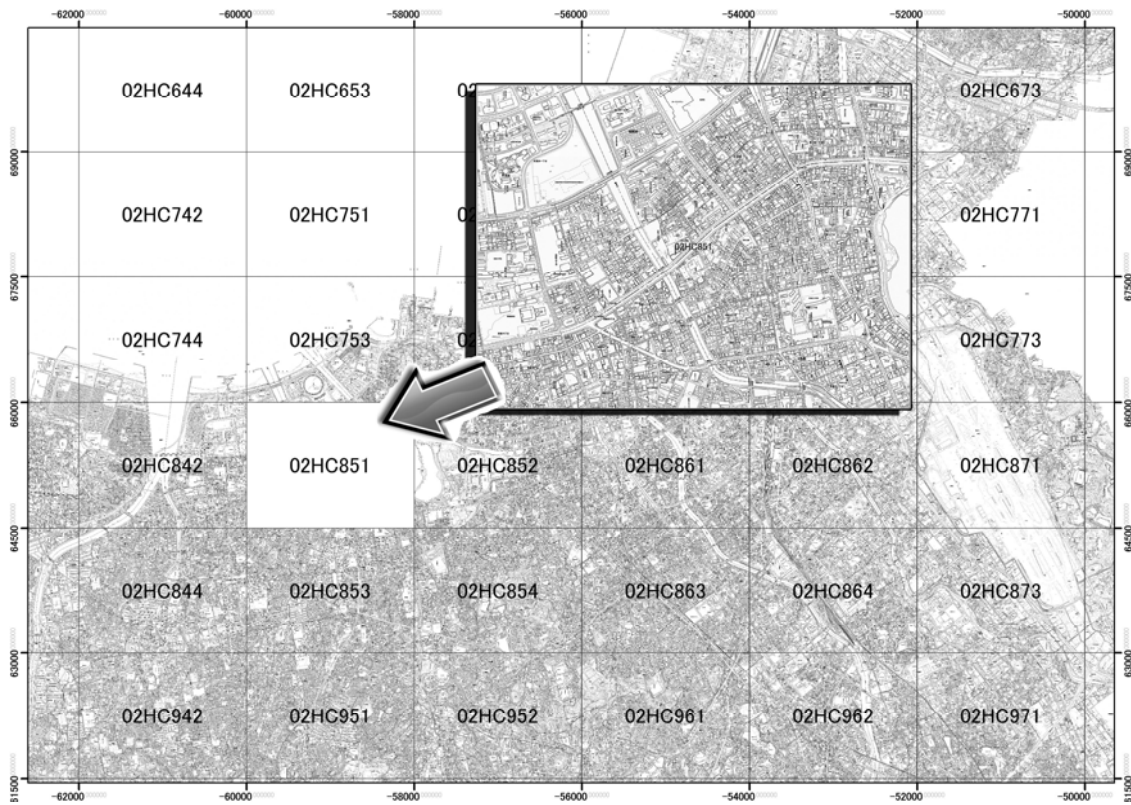
MrSID とは

- ・ 高品質で高圧縮を実現できる画像フォーマットの 1 種
- ・ スムーズな描画
- ・ GIS で使用可能(ArcGIS、SIS など)
- ・ Web ブラウザでも閲覧可能(別途フリーのプラグインのインストールが必要)

背景図としてよく用いられる画像を MrSID へ

1. オルソ画像
2. 地形図(紙ベース)
3. 地形図(DM)データ
4. CAD データ 等々

有限会社シスタクラブ



モザイクのイメージ

例)一枚の地図にした例です

